



ポランティアたちの手により運営されてきた、
町を元気にするスポーツイベント。

— 東和ロードレース —

町民の手作りにより 行われてきた ふれあいと交流の大会

毎年7月第一日曜に開催される、通称「東北のポストンマラソン」。「みんなで走ろう」をキャッチフレーズとしたこの大会では、小学生や親子を対象にした2kmのコースからハーフマラソンまで、31の部門に分かれ健脚を競います。近年は生涯スポーツを実感できる大会にするため、あじさいを眺めながら歩くウォークの部も開設し、参加者の数も増えています。

この大会の大きな特徴は、運営が町内外のポランティアや各種団体の人たちにより支えられているということ。町内の有志により結成された「いなほ陸友会」が、町おこしの一つとして初めて開催したのが昭和45年。以来、町をあげてのスポーツイベントとして、前夜祭での交歓会や宿泊で、町外から参加する人たちとのふれあいと交流を図ってきました。それが、参加者1200人でスタートしたこの大会が、今や3,600